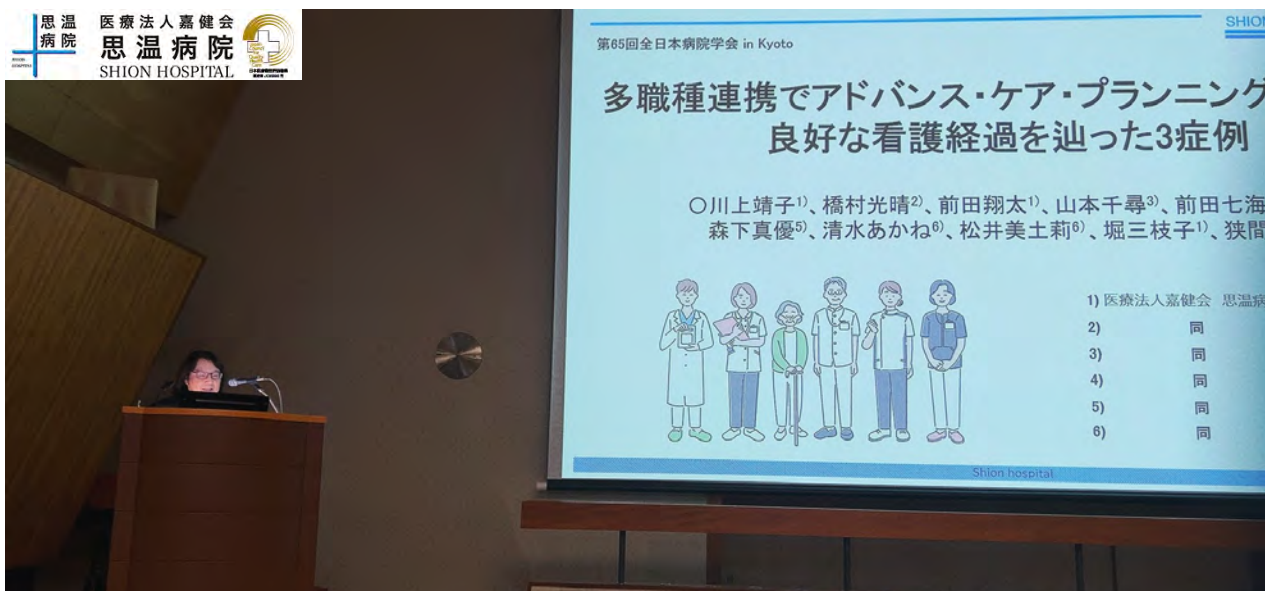


# しおんだより VOL.48



## 全日本病院学会で当院の取組を発表しました！

医療の業界では、様々な「学会」があります。外科とか内科とか診療科ごとの学会もありますし、医師、看護師、薬剤師といった職種ごとの学会もあります。

「病院」という枠組でもいくつかの学会があり、そのうちの1つである「全日本病院学会」に、昨年が続いて当院から発表を行いました。今年で65回目を迎える伝統ある学会で、参加者も多く、開催場所は京都国際会議場という京都市の北部、宝ヶ池の近くの非常に大きな会場でした。

昨年は、院長である私が新型コロナウイルス感染症の患者さんを、当院でどのように受け入れ、治療していったのかということをもとめた発表を行いました。今年は、看護部から、病棟コントロール（藤嶋看護師長）とアドバンスケアプランニング（川上看護師）、医事課から電子処方箋（村上主任）をテーマにした発表を行いました。

全国から、沢山の病院関係者が参加する学会で、会場はどこも盛況でしたので、少なからず緊張したと思いますが、院内でも2回、予演会を行ったこともあってか、皆さん堂々とした発表ぶりで、院長としてもうれしく、頼もしかったです。当日は、他病院の様々な発表も盛りだくさんで、ご高齢の方の多彩な疾患の方の治療に当たる当院のスタッフにとっては、今日からでも役立つ収穫のある実践的な学会参加となりました。

今回は、看護部から2題、医事課から1題の計3題の口頭発表があり、20余名の職員と一緒に参加しました。

## 普段はなかなか入れない会場に入れるのも醍醐味のひとつ

ところで、学会の規模にもよりますが、今回の様な全国規模の学会になると、何千人という参加者になるので、必然的に会場も大きくなります。

普段はなかなか入れないような会場に入ることができるのも、学会参加の一つの醍醐味かも知れません。今回の学会会場である国立京都国際会館は、その名の通り、色々な国際会議が開催されるところで、国連の地球温暖化対策としての「京都議定書」が採択されたのも、この会場のメインホールです。

外観も特徴的で、様々な口ケ地になっていますが、私が個人的に印象に残っているのが、その昔、ウルトラセブンで「地球防衛軍 六甲山防衛センター」として出てきたことです。50年以上前に設計されたとは思えない外観も未来的で魅力がありますが、内装も、昭和らしさがあちこちに感じられて、個人的には大好きな学会会場の一つです。

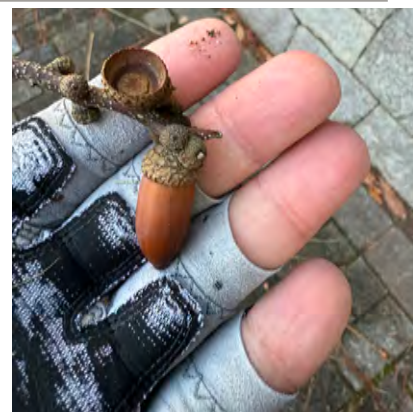


会場となった京都国際会議場は、色々なテレビドラマや映画などのロケ地として使われています。

## 暑かった夏も終わり、秋がやってきました

それにしても、今年の夏は暑かったですね！7月、8月は仕方がないとして、9月になっても真夏のような暑さが続きました。当院でも、年齢を問わず熱中症の方が数多く受診されたり、救急車で搬送されてこられたりしました。

「暑さ寒さも彼岸まで」と言いますが、お彼岸のころはまだ暑かった今年も、さすがに涼しくなってきました。先日、講演会で訪れた千葉県・幕張で、朝、ホテルの近くを走っていると、どんぐりが沢山落ちていました。思わず足をとめて、手に取って見ましたが、光沢のある外観に、手頃な大きさと、清潔感のある硬さにしばし手の上で転がしながら見てしまいました。



子どものころには大好きだったどんぐりですが、やっぱりかわいいですね。

今年の秋は短く冬は寒いという予報もあるようです。折角やってきたこの過ごしやすい秋のシーズンですから、色々とお楽しみたいものですね。みなさんにとっての秋は、何の秋でしょうか？私？私は、やっぱり、食欲の秋です！（文責：狭間研至）

しおんだより 第48号 発行日：令和6年10月15日

発行人：狭間研至 発行元：医療法人嘉健会 思温病院

☎557-0034 大阪市西成区松1-1-31 電話06-6657-3711 HP: [www.shion-hp.or.jp](http://www.shion-hp.or.jp)